Wireless LAN Adapter

IEEE802.11n/11g/11b準拠 USB2.0対応 無線LANアダプタ

LAN-W150N/U2

User's Manual for Windows

Windows版ユーザーズマニュアル

このマニュアルは、別冊の「セットアップガイド」とあわせてお読みください。

●このマニュアルで使われている用語

このマニュアルでは、一部の表記を除いて以下の用語を使用しています。

用　語	意　味
本製品	無線LANアダプタ「LAN-W150N/U2」を称して「本製品」と表記しています。
11n	IEEE802.11n規格を「11n」、IEEE802.11g規格を「11g」、IEEE802.11b規格を「11b」と省略して表記している場合があります。
無線ルータ	無線LANブロードバンドルータを略して「無線ルータ」と表記しています。
無線AP	無線LANアクセスポイントを略して「無線AP」と表記しています。
無線親機	無線ルータと無線APをあわせて「無線親機」と表記しています。
無線子機	PCカードタイプの無線LANカード、無線LAN USBアダプタの総称である「無線アダプタ」を、「無線子機」と表記しています。
無線クライアント	無線子機や情報端末、無線機能を持ったパソコンなど、無線親機に接続する無線機器を総称して「無線クライアント」と表記しています。
有線クライアント	有線LANアダプタ（イーサネットアダプタ）を持ったパソコンのことを「有線クライアント」と表記しています。

●このマニュアルで使われている記号

記　号	意　味
注 意	作業上および操作上で特に注意していただきたいことを説明しています。この注意事項を守らないと、けがや故障、火災などの原因になることがあります。注意してください。
	説明の補足事項や知っておくと便利なことを説明しています。

ご注意

●本製品の仕様および価格は、製品の改良等により予告なしに変更する場合があります。
●本製品に付随するドライバ、ソフトウェア等を逆アセンブル、逆コンパイルまたはその他リバースエンジニアリングすること、弊社に無断でホームページ、FTPサイトに登録するなどの行為を禁止させていただきます。
●このマニュアルの著作権は、ロジテック株式会社が所有しています。
●このマニュアルの内容の一部または全部を無断で複製/転載することを禁止させていただきます。
●このマニュアルの内容に関しては、製品の改良のため予告なしに変更する場合があります。
●このマニュアルの内容に関しては、万全を期しておりますが、万一ご不審な点がございましたら、弊社テクニカル・サポートまでご連絡ください。
●本製品の日本国外での使用は禁じられています。ご利用いただけません。日本国外での使用による結果について弊社は、一切の責任を負いません。また本製品について海外での（海外からの）保守、サポートは行っておりません。
●本製品を使用した結果によるお客様のデータの消失、破損など他への影響につきましては、上記にかかわらず責任は負いかねますのでご了承ください。重要なデータについてはあらかじめバックアップするようにお願いいたします。
●Microsoft、Windows Vista、Windowsは米国Microsoft Corporationの登録商標です。そのほか、このマニュアルに掲載されている商品名/社名などは、一般に各社の商標ならびに登録商標です。本文中における®およびTMは省略させていただきました。

IEEE802.11n/11g/11b準拠 USB2.0対応 無線LANアダプタ

LAN-W150N/U2

User's Manual for Windows

Windows版ユーザーズマニュアル

はじめに

この度は、ロジテックの無線LANアダプタ製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。このマニュアルには、無線LANアダプタを使用するにあたっての手順や設定方法が説明されています。また、お客様が無線LANアダプタを安全に扱っていただくための注意事項が記載されています。導入作業を始める前に、必ずこのマニュアルをお読みになり、安全に導入作業をおこなって製品を使用するようにしてください。

このマニュアルは、製品の導入後も大切に保管しておいてください。

安全にお使いいただくために

けがや故障、火災などを防ぐために、ここで説明している注意事項を必ずお読みください。

⚠ **警　告**	**この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などによる死亡や大けがなど人身事故の原因になります。**
⚠ **注　意**	**この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり、他の機器に損害を与えたりすることがあります。**

⚠ 警　告

本製品の分解、改造、修理をご自分でおこなわないでください。
火災や感電、故障の原因になります。また、故障時の保証の対象外となります。

本製品を取り付けたパソコン本体から発煙や異臭がしたときは、直ちに使用を中止したうえで電源を切り、ACコンセントから電源プラグを抜いてください。そのあと、ご購入店もしくは当社テクニカル・サポートまでご連絡ください。
そのまま使用すると、火災や感電、故障の原因になります。

本製品を取り付けたパソコン本体に、水などの液体や異物が入った場合は、直ちに使用を中止したうえで電源を切り、ACコンセントから電源プラグを抜いてください。そのあと、ご購入店もしくは当社テクニカル・サポートまでご連絡ください。
そのまま使用すると、火災や感電、故障の原因になります。

本製品を、水を使う場所や湿気の多いところで使用しないでください。
火災や感電、故障の原因になります。

⚠ 注　意

本製品の取り付け、取り外しのときは、必ずパソコン本体および周辺機器メーカーの注意事項に従ってください。

本製品の取り付け、取り外しのときは、本製品に触れる前に金属性のもの（スチールデスク、ドアのノブなど）に手を触れて、静電気を除去してから作業をおこなってください。
静電気は本製品の破損の原因になります。

本製品および本製品を取り付けたパソコン本体を次のようなところで使用しないでください。
・高温または多湿なところ、結露を起こすようなところ
・直射日光のあたるところ
・平坦でないところ、土台が安定していないところ、振動の発生するところ
・静電気の発生するところ、火気の周辺

長期間、本製品を取り付けたパソコン本体を使用しないときは、電源プラグを抜いておいてください。
そのまま使用すると、故障の原因になります。

無線LANをご使用になるにあたってのご注意

●無線LANは無線によりデータを送受信するため盗聴や不正なアクセスを受ける恐れがあります。無線LANをご使用になるにあたってはその危険性を十分に理解したうえ、データの安全を確保するためセキュリティ設定をおこなってください。また、個人データなどの重要な情報は有線LANを使うこともセキュリティ対策として重要な手段です。

●本製品は電波法に基づき、特定無線設備の認証を受けておりますので免許を申請する必要はありません。ただし、以下のことは絶対におこなわないようにお願いします。

・本製品を分解したり、改造すること
・本製品の背面に貼り付けてある認証ラベルをはがしたり、改ざん等の行為をすること
・本製品を日本国外で使用すること

これらのことに違反しますと法律により罰せられることがあります。

●心臓ペースメーカーを使用している人の近く、医療機器の近くなどで本製品を含む無線LANシステムをご使用にならないでください。心臓ペースメーカーや医療機器に影響を与え、最悪の場合、生命に危険を及ぼす恐れがあります。

●電子レンジの近くで本製品を使用すると無線LANの通信に影響を及ぼすことがあります。

もくじ

Chapter 1

概要編

1 製品の保証について

製品の保証とサービス

本製品には保証書が付いています。内容をお確かめの上、大切に保管してください。

●保証期間
保証期間はお買い上げの日より1年間です。保証期間を過ぎての修理は有料になります。詳細については保証書をご覧ください。保証期間中のサービスについてのご相談は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

●保証範囲
次のような場合は、弊社は保証の責任を負いかねますのでご注意ください。

・弊社の責任によらない製品の破損、または改造による故障
・本製品をお使いになって生じたデータの消失、または破損
・本製品をお使いになって生じたいかなる結果および、直接的、間接的なシステム、機器およびその他の異常

詳しい保証規定につきましては、保証書に記載された保証規定をお確かめください。

●その他のご質問などに関して
P11「2. サポートサービスについて」をお読みください。

2 サポートサービスについて

下記のロジテック・テクニカルサポートへお電話またはFAXでご連絡ください。サポート情報、製品情報につきましては、インターネットでも提供しております。

ロジテック ホームページ　http://www.logitec.co.jp/

ロジテック・テクニカルサポート（ナビダイヤル）
TEL：0570-050-060　　FAX：0570-033-034
受付時間：月曜日～金曜日 9:00～19:00　※FAXによる受付は24時間対応しております。
（ただし，夏期，年末年始の特定休業日，祝日は除きます）

本製品は日本国内仕様です。海外での使用に関しては弊社ではいかなる責任も負いかねます。
また弊社では海外使用に関する、いかなるサービス、サポートも行っておりません。

●テクニカルサポートにお電話、FAXされる前に
お手数ですが、テクニカルサポートにお電話される前に、次の項目について確認してください。
◆お電話される前に、パソコンを起動できる場合は、起動した状態でお電話ください。
◆対象製品が取り付けられたパソコンの前から会話が可能な場合は，パソコンの前からお電話をおかけください。実際に操作しながらチェックできますので、解決しやすくなります。
◆FAXを送られる場合は，詳しい内容を書いた書面を添えて送付いただくと解決しやすくなります。

お調べいただきたい内容
◆ネットワーク構成
・使用しているネットワークアダプタ　　・使用しているOS
・使用しているパソコンのメーカおよび型番
・ネットワークを構成するパソコンの台数とOSの構成
・ネットワークを構成するその他の関連機器（ハブ、ルータなど）
◆具体的な現象，事前にお客様が試みられた事項（あればお伝えください）

3 本製品の概要について

本製品の特長

●IEEE802.11n準拠で最大150Mbps（理論値）の高速データ転送が可能
IEEE802.11nに準拠し、無線LANで最大150Mbps（理論値）という高速なデータ通信が可能です。障害物にも強く、従来よりも長い伝送距離でも高速で安定した通信が可能です。

●セット品の無線AP"LAN-W150N/AP"との組み合わせなら設定が一切不要
セット品の無線AP"LAN-W150N/AP"と本製品を組み合わせて使う場合、初期値のまま使用するのであれば、①無線APをつなぐ、②本製品のドライバ等をインストールする、③本製品をパソコンにつなぐという3ステップで、すぐに無線LANが利用できます。

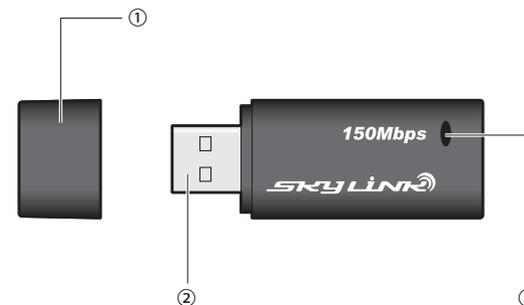
●WPS機能に対応した無線LAN設定方式を採用
「ボタン方式」または「PIN方式」の2種類の方法で､面倒な暗号化の設定を意識することなく、簡単に無線LAN接続を設定できる「WPS」機能に対応しています。

●伝送方式にOFDM方式を採用
IEEE802.11n/11gは、伝送方式にOFDM（Orthogonal Frequency Division Multiplexing=直交周波数分割多重）方式を採用しています。この方式はデータを多重化して送信するマルチキャリア伝送方式で伝送特性の劣化を軽減することができ、安定したデータ伝送を可能にする伝送方式です。
※IEEE802.11b（11Mbps）はDS-SS方式（直接拡散スペクトラム方式）を採用しています。

●各種無線セキュリティ機能に対応
より高度なセキュリティ方式であるWPA-PSK（TKIP）/WPA2-PSK（AES）に対応しています。WPAでは、暗号キーを一定時間ごとに自動的に変更しますので、外部からの不正解読が困難になっています。また、従来からあるWEP（128/64bit）にも対応しています。

●さまざまな設定が可能な設定ユーティリティソフトが付属
無線LANを便利に使いこなせる設定ユーティリティソフトが付属します。本製品の各種設定に加え、接続先のさまざまな情報を取得できます。初心者からヘビーユーザーまで幅広い使い方ができます。

●プロファイル機能を搭載
接続先ごとに無線LAN設定を変更しないで済むように、設定を保存できるプロファイル機能を搭載しています。会社や自宅と外出先での設定の切り替えはもちろん、認証方式の保存にも役立ちます。

4 各部の名称とはたらき

番号	名称	はたらき
①	保護キャップ	未使用時にUSBコネクタを保護するキャップです。
②	USBコネクタ	パソコンのUSBポートに接続します。
③	Link/Activityランプ（緑色）	点灯：本製品の電波出力がオフの状態です。 点滅：無線親機（無線ルータまたは無線AP）とリンクしています。データ転送中も点滅します。 消灯：無線APまたは無線ルータとリンクできていません。

※本製品は、WPS機能に対応しますが、本体にWPSボタンはありません。本製品の設定ユーティリティ上でWPS機能を実行する必要があります。

Chapter 2

導入編

1 ソフトウェアのインストール

付属のCD-ROMから必要なソフトウェアとドライバをインストールします。

●本製品（無線アダプタ）をパソコンに接続しないでください
ソフトウェアのインストールが完了するまで、本製品をパソコンに接続しないでください。ソフトウェアをインストールする前に本製品を接続すると正常に動作しません。

●無線機能内蔵のパソコンをご使用の場合
内蔵の無線機能をオフにしてから作業を始めてください。

1 本製品を接続するパソコンを起動します。起動時は、ご使用のOSにあわせて、以下の権限を持つユーザーでログオンしてください。

●Windows 7/Vistaの場合
→「管理者（Administrator）」権限を持つユーザーアカウントでログオン

●Windows XP の場合
→「コンピュータの管理者」権限を持つユーザーでログオン

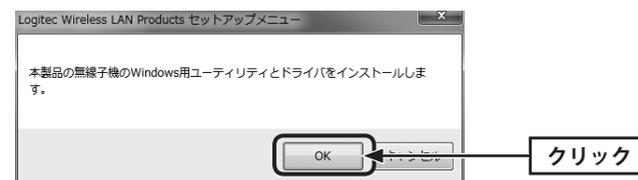
ユーザー権限は、「コントロールパネル」のユーザーアカウントで調べることができます。もし、ログオン中のアカウントに管理者権限がない場合は、管理者権限のあるアカウントで再ログオンしてください。現在のユーザーの権限の確認方法は、P59「補足1：Windowsのユーザー権限の確認方法」をお読みください。

2 付属のCD-ROMをドライブにセットします。

・自動的に「セットアップメニュー」が表示されます。

「セットアップメニュー」が表示されない場合
マイコンピュータなどでCD-ROMの内容を表示し、「menu（.exe）」アイコンをダブルクリックします。
・Windows Vistaで自動再生画面が表示された場合は、「menu.exeの実行」をクリックします。
・Windows 7/Vistaで〈ユーザーアカウント制御〉画面が表示された場合は、Windows 7なら［はい］を、Windows Vistaなら［許可］をクリックします。

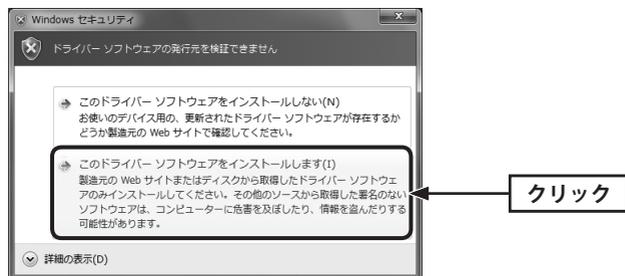
3 ［Windowsユーティリティとドライバのインストール］をクリックします。

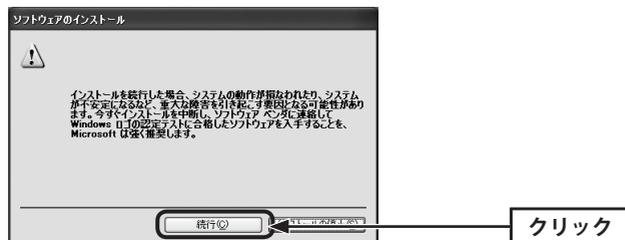
4 インストールを確認するメッセージが表示されますので、［OK］をクリックします。

5 ［次へ］をクリックします。

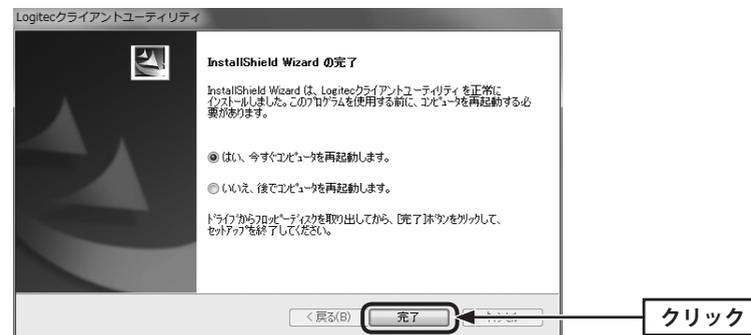
6 インストール をクリックします。

・インストールが始まります。

7 以下の画面が表示された場合は、説明をお読みになりインストール作業を続けます。

●Windows 7/Vistaの場合

・[このドライバソフトウェアをインストールします]をクリックします。

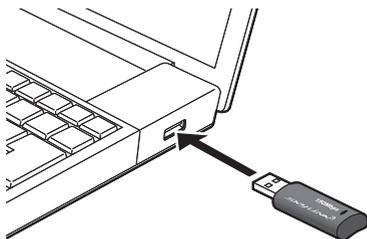
●Windows XPの場合

・ 続行 をクリックします。

8 インストール完了のメッセージが表示されますので、 完了 をクリックします。

・OSが再起動します。
・CD-ROMをドライブから取り出します。

9 これでソフトウェアのインストールは完了です。P20「2. 本製品を取り付ける」へ進みます。

2 本製品を取り付ける

本製品をパソコンに取り付けます。なお、初めて本製品をパソコンに接続するときは、あらかじめソフトウェアのインストール(P16)が必要です。

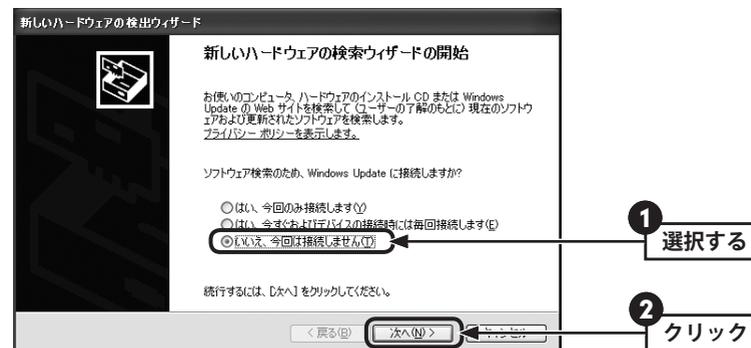
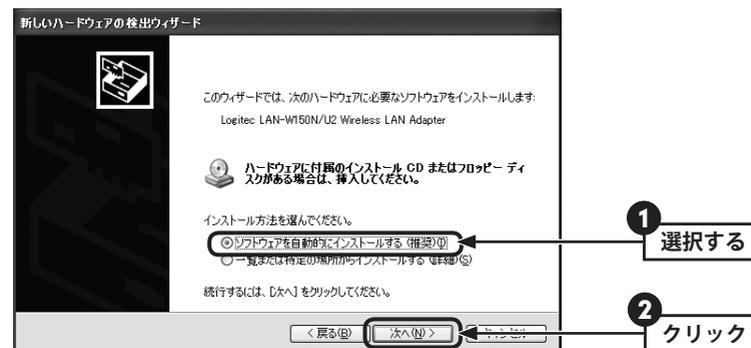
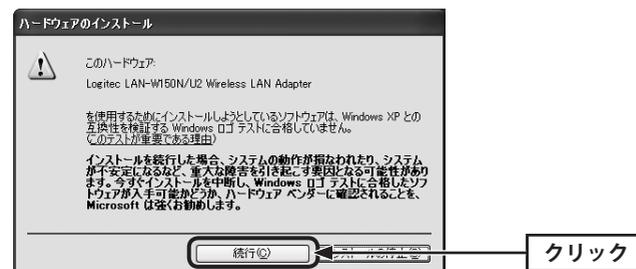
1 **パソコンのOSが完全に起動した状態で、パソコンのUSBポートに本製品を接続します。**

2 **ご使用のOSによって、このあとの手順が異なります。**

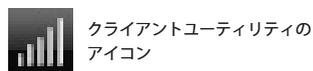
●Windows 7/Vistaの場合

しばらくすると、自動的にドライバのインストールが完了します。手順 7 へ進みます。

●Windows XPの場合

手順 3 へ進みます。

3 **「いいえ、今回は接続しません」を選択し、 次へ をクリックします。**

4 **「ソフトウェアを自動的にインストールする」を選択し、 次へ をクリックします。**

5 **以下の画面が表示された場合は、 続行 をクリックします。**

6 **「新しいハードウェアの検索ウィザードの完了」と表示されますので、完了 をクリックします。**

7 **デスクトップ画面の右下にある「タスクトレイ」に「Logitecクライアントユーティリティ」のアイコンが表示されていることを確認します。**

クライアントユーティリティのアイコン

Windows 7の例
Windows 7の場合、アイコンがすべて表示されていない場合があります。タスクトレイの▲をクリックし、タスクトレイの内容を表示します。

Windows Vistaの例
※Windows XPも同様です。

8 **これで本製品の接続とドライバのインストールは完了です。P23「3. 無線LANで接続する」へ進みます。**

3 無線LANで接続する

本製品は、"LAN-W150N/APU2"に付属する専用の無線アダプタです。初期値のままセット品の無線APに接続する場合は、別紙「セットアップガイド」のSTEP2をお読みください。ここでは、セット品の無線APにセキュリティ設定したうえで、WPS機能を利用する場合や、セット品以外の無線親機（無線ルータや無線AP）と接続する場合の手順を説明します。

無線LANへの接続方法を決める

用意した無線親機に「WPS」機能が搭載されていますか？

- **はい、搭載しています。**
- **いいえ、搭載していません。**

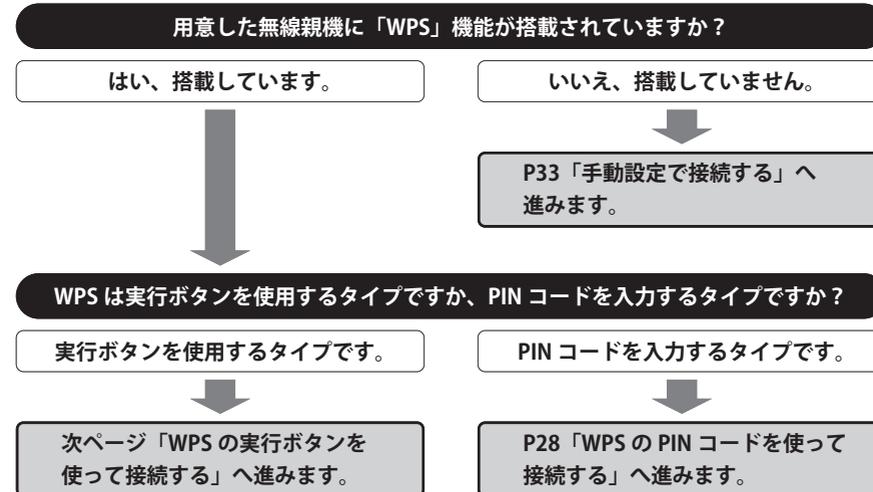
P33「手動設定で接続する」へ進みます。

WPSは実行ボタンを使用するタイプですか、PINコードを入力するタイプですか？

- **実行ボタンを使用するタイプです。**

次ページ「WPSの実行ボタンを使って接続する」へ進みます。

- **PINコードを入力するタイプです。**

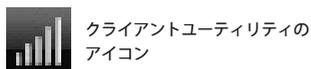
P28「WPSのPINコードを使って接続する」へ進みます。

WPS機能について

Wi-Fiアライアンスの新しい規格です。WPS機能を搭載する無線LAN製品同士を接続する場合に、WPS機能を使ってセキュリティを含む無線LAN設定を自動的におこなって、すぐに使えるようにする機能です。WPS機能には、無線親機と無線子機のそれぞれに装備されたWPS用の「実行ボタン」を押すタイプと、「PINコード」と呼ばれる8桁の数字を入力するタイプの2種類があります。面倒なセキュリティ機能も含めて自動的に設定できますので、わずらわしかった無線LAN設定から一気に解放されます。

WPSの実行ボタンを使って接続する

WPS機能の実行ボタン無線親機に接続します。実行ボタンは機器本体に装備されている場合と、設定ユーティリティ上のボタンをクリックする場合の2種類があります。
・本製品（LAN-W150N/U2）は、設定ユーティリティ上のボタンをクリックします。
・セット品の無線AP（LAN-W150N/AP）は背面の「WPSボタン」を押します。
・他の無線親機の場合は、説明書でご確認ください。

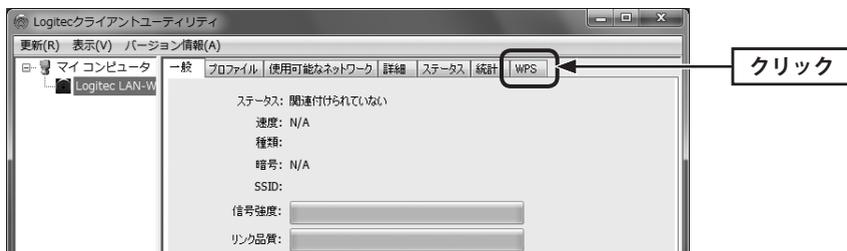
1 **本製品を接続したパソコンを、インターネットに接続可能な状態である無線親機の近くに置きます。**

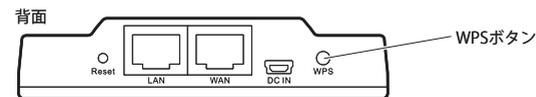
2 **デスクトップ画面の右下の「タスクトレイ」にある［Logitecクライアントユーティリティ］アイコンをクリックします。**

クライアントユーティリティのアイコン

Windows 7の例
Windows 7の場合、アイコンがすべて表示されていない場合があります。タスクトレイの▲をクリックし、タスクトレイの内容を表示します。

Windows Vistaの例
※Windows XPも同様です。

・Logitecクライアントユーティティの画面が表示されます。

3 **【WPS】タブをクリックします。**

4 **無線親機に搭載されたWPS用の「実行ボタン」を指定された時間だけ押します。**

◆セット品の無線AP“LAN-W150N/AP”の例

・セット品の無線AP“LAN-W150N/AP”の場合は、2秒以上「WPSボタン」を押し続けます。
・他社製品のWPS用の「実行ボタン」を押す時間につきましては、それぞれの機器の説明書をお読みください。

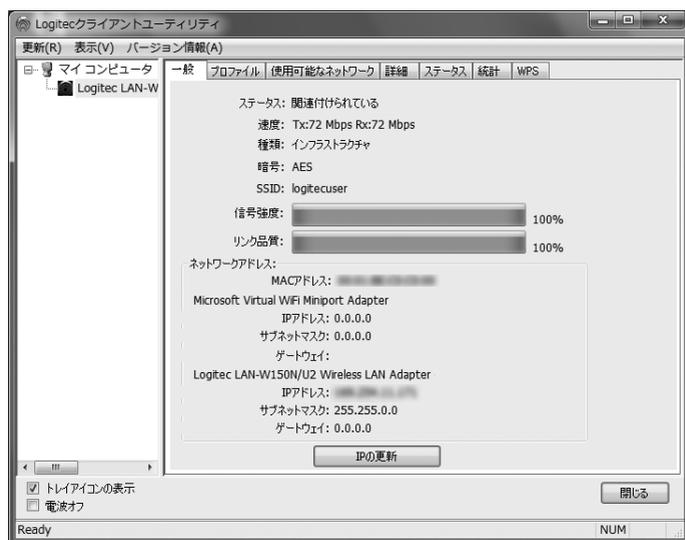
注 意

無線親機側がWPS用の信号を送信する時間は限られています。親機側で指定された時間以内に本製品の設定ユーティリティにある「実行ボタン」を押さないと接続できません。設定時間を過ぎた場合は、手順 4 5 をくり返してください。
※セット品の無線APで指定されている時間は、2分間です。

5 **【WPS】タブにある プッシュボタン設定（PBC） をクリックします。**

一定時間、選択したタブで操作をしなかった場合、自動的に【一般】タブに表示が切り替わります。

6 **接続状況をステータスで伝える〈WPS-PBCによる方法〉画面が表示されます。**

7 **自動的に【一般】タブに切り替わり、信号強度、リンク品質のインジケータがグリーンになっていれば、無線親機と接続できています。**

・その他、SSIDをはじめ各種ステータスが表示されます。

〈タイムアウト〉画面が表示されたとき
WPSが起動中の無線親機を認識できない場合は、〈タイムアウト〉画面が表示されます。この場合は、手順 **4** **5** をくり返してください。

8 **これで無線親機との接続作業は完了です。P37「4. インターネットに接続する」へ進みます。**

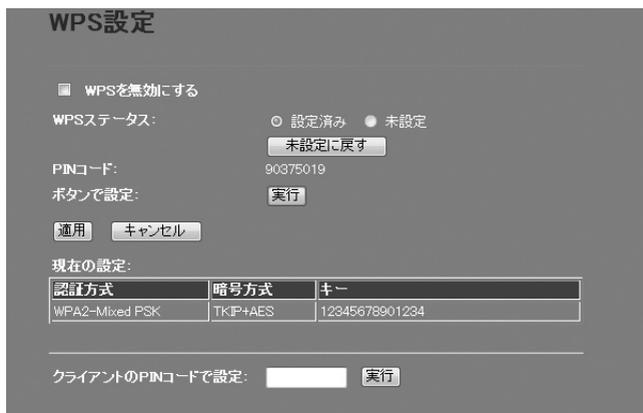
・Logitecクライアントユーティリティの右上にある [×] をクリックすると画面を閉じます。再び表示するときは、Windows画面右下のタスクトレイのアイコンをクリックします（→P24手順 **2** ）。
※基本画面で［トレイアイコンの表示］（→P40）をオフにしている場合は、プログラムメニューなどから起動する必要があります。

WPSのPINコードを使って接続する

WPS機能のうち、本製品と無線親機（無線ルータまたは無線AP）に搭載されたWPS用の「PINコード」を使って、無線親機に接続します。

本製品は、本製品側のPINコードを無線親機側に設定する方法のみを使用できます。無線親機側の設定されたPINコードを本製品に入力する方法には対応していません。

1 **本製品を接続したパソコンを、インターネットに接続可能な状態である無線親機の近くに置きます。**

2 **あらかじめ、無線親機の設定ユーティリティにあるWPSの設定画面を表示しておきます。また、無線親機に設定されたSSIDをメモしておいてください。**

セット品の無線AP
“LAN-W150N/AP”の例

SSID

・画面の表示方法については、無線親機の説明書をお読みください。

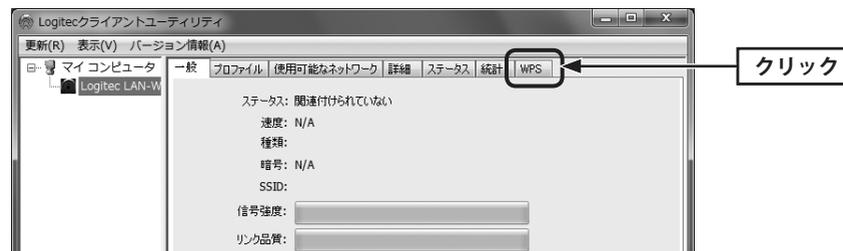
3 **本製品（無線アダプタ）側の設定ユーティリティを起動します。**
デスクトップ画面の右下の「タスクトレイ」にある［Logitecクライアントユーティリティ］アイコンをクリックします。

クライアントユーティリティの
アイコン

Windows 7の例
Windows 7の場合、アイコンがすべて表示されていない場合があります。タスクトレイの▲をクリックし、タスクトレイの内容を表示します。

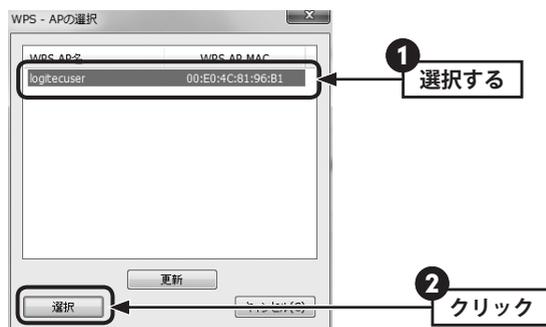
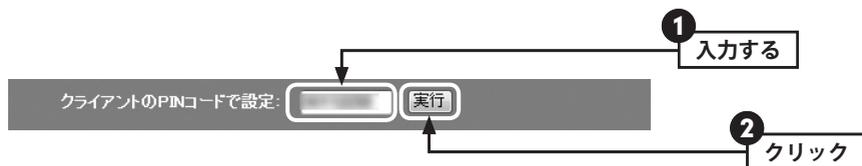
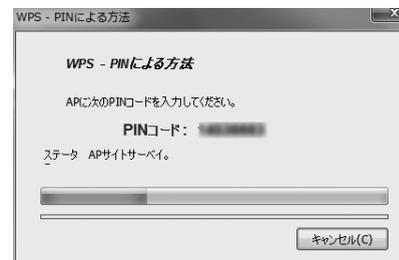
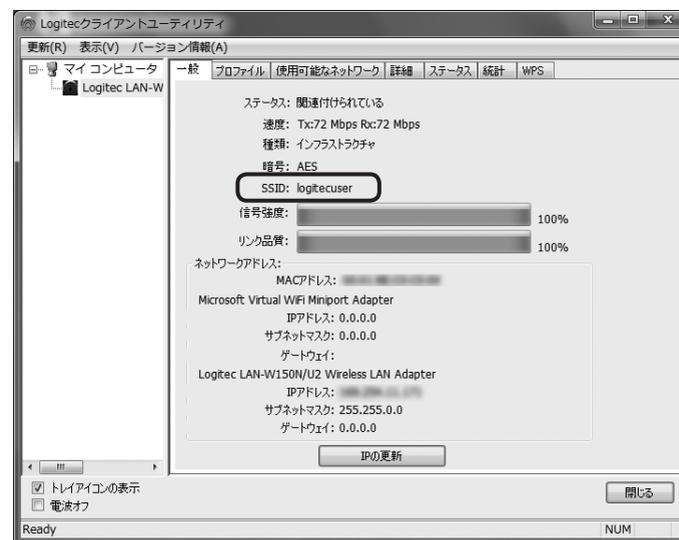
Windows Vistaの例
※Windows XPも同様です。

・Logitecクライアントユーティティの画面が表示されます。

4 **【WPS】タブをクリックします。**

5 **表示されているPINコードをメモし、PIN入力設定 をクリックします。**

6 「特定の AP を選択しますか」と表示されます。 はい をクリックします。

・ いいえ をクリックしても、自動的に接続可能な無線親機を検索しますが、特定の無線親機を選択したほうが確実に接続できます。

7 リストに表示された無線親機の中から、手順 2 でメモしたSSIDを選択し、 選択 をクリックします。

8 無線親機側のWPS画面に、手順 5 でメモしたPINコードを入力し、 実行 をクリックします。

9 接続状況をステータスで伝える〈WPS-PINによる方法〉画面が表示されます。

10 自動的に【一般】タブに切り替わり、手順 2 でメモした [SSID] が表示されます。

・このほか各種ステータスが表示されるほか、信号強度、リンク品質のインジケータがグリーンになります。

〈タイムアウト〉画面が表示されたとき

WPSが起動中の無線親機を認識できない場合は、〈タイムアウト〉画面が表示されます。この場合は、手順 3 ～ 8 をくり返してください。

11 **これで無線親機との接続作業は完了です。P37「4. インターネットに接続する」へ進みます。**

・Logitecクライアントユーティリティの右上にある ✕ をクリックすると画面を閉じます。再び表示するときは、Windows画面右下のタスクトレイのアイコンをクリックします（→P29手順 **3** ）。
※基本画面で［トレイアイコンの表示］（→P40）をオフにしている場合は、プログラムメニューなどから起動する必要があります。

手動設定で接続する（WEP/WPA-PSK/WPA2-PSKを使う）

WPS機能がない無線LAN環境では、無線親機に設定された無線LANの設定内容を本製品に設定します。ここでは、セキュリティ機能として、WEP、WPA-PSK、WPA2-PSKのいずれかを設定する手順も含めて説明しています。

1 **接続作業をはじめる前に、無線親機に設定されている無線LAN設定の項目を確認してメモします。**

●メモする内容

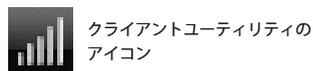
設定名	項目名	無線親機の設定値
設定値A★	SSID	
設定値B	ネットワーク認証	□オープン　□シェアード □WPA-PSK　□WPA2-PSK
設定値C	暗号化	□無効（データを暗号化しない）　□WEP □TKIP　□AES
設定値D★	WPA-PSK WPA2-PSKの場合	パスワード（パスフレーズ）＝
設定値D★	WEPの場合	・入力する文字形式　□ASCII　□Hex（16進数） ・暗号＝ ・キーのインデックス＝

※ブロードキャストSSID、ステルスSSIDなど、SSIDの秘匿機能を使用していない場合は、本製品の設定ユーティリティが基本的な情報を自動的に取得しますので、★マーク以外の内容はメモする必要はありません。
※セキュリティに関する項目は、セキュリティ機能を使用している場合にメモしてください。なお、各項目の選択条件によって、表示される設定項目は変化します。
※無線親機側の項目の名称は、製品によって異なります。

注 意

ここにメモ書きした場合は、このマニュアルを他人に見られないように保管してください。

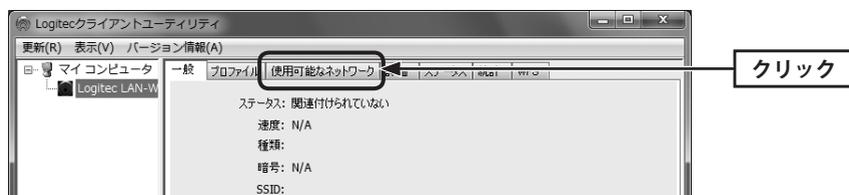
2 **本製品を接続したパソコンを、インターネットに接続可能な状態である無線親機の近くに置きます。**

3 **デスクトップ画面の右下の「タスクトレイ」にある［Logitecクライアントユーティリティ］アイコンをクリックします。**

クライアントユーティリティの
アイコン

Windows 7の例
Windows 7の場合、アイコンがすべて表示されていない場合があります。タスクトレイの▲をクリックし、タスクトレイの内容を表示します。

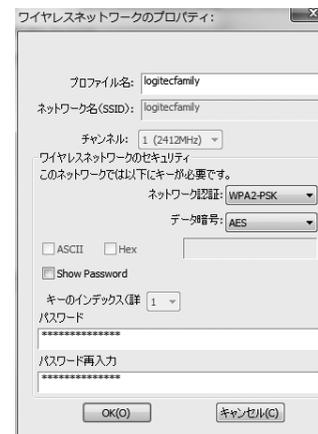
Windows Vistaの例
※Windows XPも同様です。

・Logitecクライアントユーティリティの画面が表示されます。

4 **【使用可能なネットワーク】タブをクリックします。**

5 **手順 1 でメモしたSSIDをリストから選択し、 プロファイルに追加 をクリックします。**

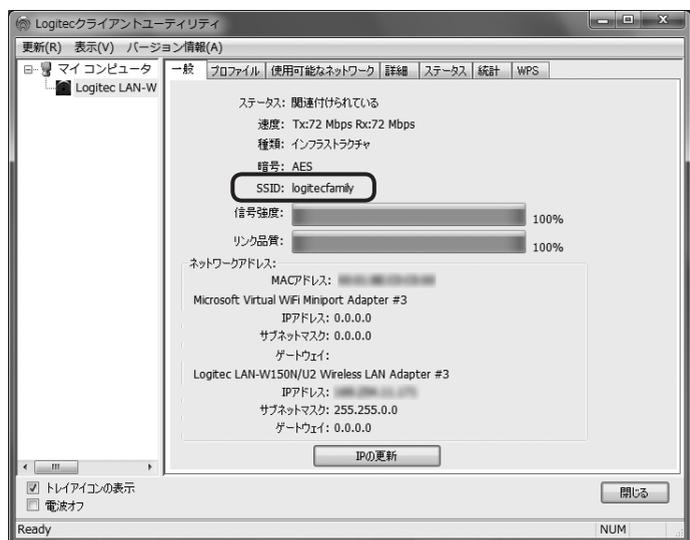
SSIDの秘匿機能をご使用の場合
「ブロードキャストSSID」「SSIDステルス」など、SSID名を設定ツールのリストに表示させない機能を使用している場合は、リストにSSID名が表示されません。この場合は以下の手順で接続する無線LANのSSIDなどを手動で入力してください。

❶【プロファイル】タブをクリックします。
❷ 追加 をクリックします。
❸「プロファイル名（例：My Home）」「SSID（あらかじめメモした設定値Aの内容）」などを設定します。※ SSIDは大文字と小文字が区別されます。
❹ 手順 6 へ進みます。

6 **必要に応じてプロファイル名を変更したり、セキュリティ機能など必要事項を設定します。**

・手順 1 でメモした内容を参考に必要な設定をおこないます。
・WPA-PSK、WPA2-PSKのパスワードは、再入力とあわせて2回入力する必要があります。
・画面の詳細については、P41「2. プロファイル タブ」をお読みください。

【使用可能なネットワーク】タブでSSIDを選択した場合は、本製品の設定ユーティリティが基本的な情報を自動的に選択しています。パスワードなど不足している情報だけ入力してください。

7 **設定が終われば、 OK をクリックします。**

8 **自動的に【一般】タブに切り替わり、手順 1 でメモした［SSID］が表示されます。**

9 **これで無線親機との接続作業は完了です。P37「4. インターネットに接続する」へ進みます。**

・Logitecクライアントユーティリティの右上にある [×] をクリックすると画面を閉じます。再び表示するときは、Windows画面右下のタスクトレイのアイコンをクリックします（→P34手順 3 ）。
※基本画面で［トレイアイコンの表示］（→P40）をオフにしている場合は、プログラムメニューなどから起動する必要があります。

4 インターネットに接続する

無線LANを経由してインターネットに接続できるかテストします。

1 **Internet ExplorerなどのWebブラウザを起動します。**

2 **Webブラウザからお好みのホームページに接続し、正常に表示されることを確認します。**

ロジテック Web サイト　http://www.logitec.co.jp/

Chapter 3

詳細設定 編

1 基本画面と一般 タブ

Logitecクライアントユーティリティを起動すると、基本画面に【一般】タブが表示されます。【一般】タブには、現在の設定および接続状況などが詳しく表示されます。

◆基本画面と【一般】タブ

［IPの更新］ボタン	IPアドレスの表示を最新の内容に更新します。
トレイアイコンの表示	オフにすると、タスクトレイにLogitecクライアントユーティリティのアイコンが表示されなくなります。 設定ユーティリティを起動したい場合は、プログラムメニューなどから実行します。
電波オフ	本製品（無線アダプタ）から発信する電波をオフにします。一時的に無線の電波を発信したくない場合に便利です。
［閉じる］ボタン	Logitecクライアントユーティリティの画面を閉じます。 ［X］をクリックするのと同じです。

●メニューバーの機能

更新	現在の各種情報を最新の状態にします。
表示	画面下部のステータスバーの表示/非表示を切り替えます。
バージョン情報	〈バージョン情報〉画面を表示します。ドライバや設定ユーティリティのバージョンチェック、サポートへ問い合わせるときなどに使用します。

2 プロファイル タブ

本製品は、プロファイル名を付けることで、複数の無線LAN環境（SSIDやセキュリティ設定など）を保存することができます。接続先にあわせて、保存したプロファイルを切り替えることで、異なる無線LAN環境に簡単に接続できます。

◆【プロファイル】タブ

［追加］ボタン	新しいプロファイルを追加します。登録方法は、次ページの「プロファイルの登録方法」をお読みください。
［削除］ボタン	リストで選択したプロファイルを削除します。
［編集］ボタン	リストで選択したプロファイルの設定内容を編集（変更）できます。編集方法については、次ページの「プロファイルの登録方法」を参考にしてください。
［コピー］ボタン	リストで選択したプロファイルの設定内容をベースとして、新しいプロファイルを作成します。以下の手順で使用します。 ①リストでコピーするプロファイルを選択し、［コピー］ボタンをクリックします。 ②新しいプロファイル名を入力する画面が表示されますので、プロファイル名を入力し、［OK］ボタンをクリックします。 ③リストに新しいプロファイルが登録されます。 ※プロファイルの内容は、コピー元とすべて同じです。
［プロファイルを有効化］ボタン	リストで選択したプロファイルに接続先を変更します。

プロファイルの登録方法

プロファイルを登録する方法は2種類あります。あらかじめ無線親機に設定されたSSIDおよびセキュリティ情報を用意しておきます。

【プロファイル】タブから登録する	［追加］または［コピー］を使って、新しいプロファイルを作成することができます。
【使用可能なネットワーク】タブから登録する	リストに接続可能なネットワークが表示されます。［プロファイルに追加］をクリックすることで登録できます。SSIDや暗号化方式など本製品が自動的に取得できる内容は、選択された状態になっています。すでに無線親機と接続可能な場所に無線子機がある場合は、こちらから登録することをお勧めします。ただし、セキュリティが設定されている場合、パスワード等の設定は必要です。

1 プロファイルの作成画面を呼び出します。

●【プロファイル】タブから呼び出す場合

電波の届く範囲に接続先の無線親機がない場合は、こちらから作成画面を呼び出します。

❶【プロファイル】タブを選択します。

❷ 追加 をクリックします。

・〈ワイヤレスネットワークのプロパティ〉画面が表示されます。

●【使用可能なネットワーク】タブから呼び出す場合

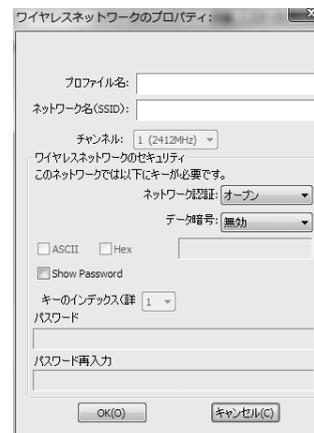
電波の届く範囲に接続先の無線親機がある場合は、こちらから作成画面を呼び出すことをお勧めします。

❶【使用可能なネットワーク】タブを選択します。

❷ リストからプロファイルに登録したいSSIDを選択します。

❸ プロファイルに追加 をクリックします。

・〈ワイヤレスネットワークのプロパティ〉画面が表示されます。

2 必要な内容を設定します。

※画面は【プロファイル】タブの［追加］ボタンをクリックした場合の例です。

プロファイル名	半角英数字でわかりやすいプロファイル名を入力します。
ネットワーク名（SSID）	半角英数字でSSIDを入力します。大文字と小文字を区別して入力します。 ※【使用可能なネットワーク】タブでSSIDを選択し、［プロファイルに追加］ボタンをクリックした場合は、選択したSSIDが表示され変更はできません。
チャンネル	本製品は、チャンネルを自動選択します。指定することはできません。
ネットワーク認証	オープン/シェアード/WPA-PSK/WPA2-PSKから選択できます。
データ暗号	ネットワーク認証の方法によって選択できる項目が異なります。 オープンの場合：無効またはWEPを選択できます。 シェアードの場合：WEPを選択できます。 WPA-PSK/WPA2-PSKの場合：TKIPまたはAESを選択できます。 ※セキュリティなしは、「オープン/無効」の選択になります。
ASCII Hex	WEPの暗号キーを、ASCII文字で入力するか、Hex（16進数）で入力するかを決め、右側の入力欄に暗号キーを入力します。 64bitの場合：ASCII 5文字　Hex 10桁 128bitの場合：ASCII 13文字　Hex 26桁
Show Password	チェックすると、入力したパスワードを「*」ではなく、実際に入力した文字で表示します。
キーのインデックス	WEPを選択した場合にキー番号を指定します。
パスワード/ パスワード再入力	パスワードを入力します。再入力にもう一度、パスワードを入力します。

セキュリティを使用しない場合

［ネットワーク認証］で「オープン」を、［データ暗号］で「無効」を選択した場合は、セキュリティ機能がオフになります。

3 すべての設定が終われば、OK をクリックします。

4 【プロファイル】タブのリストに追加されます。

・登録したプロファイルで接続したい場合は、リストのプロファイルを選択し、プロファイルを有効化 をクリックします。

3 使用可能なネットワーク タブ

本製品（無線アダプタ）に電波が届く範囲にある無線親機をリストで表示します。リストに表示されたネットワークをプロファイルに登録することもできます。

◆【使用可能なネットワーク】タブ

ネットワークごとにSSID/使用チャンネル/暗号化方式/認証方式/信号強度/接続モード/BSSID/サポートする通信速度/無線規格が表示されます。

［更新］ボタン	使用可能なネットワークのリストを最新の状態に更新します。
［プロファイルに追加］ボタン	リストで選択したSSIDを持つネットワークをプロファイルに追加します。追加したプロファイルは、【プロファイル】タブで内容を確認したり、編集したりできます。

4 詳細 タブ

【詳細】タブは、無線LANに十分な知識がある方が、より高度な設定をするためのものです。通常は変更する必要はありません。

◆【詳細】タブ

ワイヤレスモード	使用するワイヤレス規格を選択できます。（初期値：802.11n/g（20MHz）） 802.11b/g：IEEE80211b/g規格を使用します。 802.11b：IEEE802.11b規格のみを使用します。 802.11n/g（20MHz）：IEEE802.11n/g規格 20MHz帯域を使用します。 802.11n/g（20/40MHz）：EEE802.11n/g規格 20/40MHz（自動）帯域を使用します。
プリアンブルモード	無線通信の同期をとるプリアンブル信号の長さを選択します。（初期値：自動） 「自動」は長（ロング）と短（ショート）の両方に対応します。「長」はロングのみに対応、「短」はショートのみに対応します。
フラグメントしきい値	パケットが設定サイズを超えた場合に分割して送信する、フラグメントしきい値を設定します。（初期値：2347）
RTSしきい値	本製品がRTS（送信要求）信号を送信するパケットサイズを設定します。（初期値：2346）
［初期値に戻す］ボタン	変更した内容を初期値（工場出荷時の状態）に戻します。初期値に戻す対象は【詳細】タブの設定内容だけです。
［適用］ボタン	設定を変更した内容で保存します。設定を変更した場合に必ずこのボタンをクリックします。

5 ステータス タブ

本製品の現在の詳細なステータスを表示します。現在の状況を確認するのに役立ちます。

◆【ステータス】タブ

6 統計 タブ

【統計】タブでは、無線LANにおける送受信パケット数およびエラー数などの統計情報を表示します。

［Reset］ボタン	すべてのカウンタ値を0に戻します。

7 WPS タブ

【WPS】タブでは、WPS機能を実行することができます。本製品のWPS機能の利用方法は、P00「3.無線LANで接続する」をお読みください。

PINコード	本製品のPINコードです。このPINコードを無線親機側に入力してWPSを実行します。
［PIN入力設定（PIN）］ボタン	本製品のPINコードを使って、PINコードによるWPS機能を実行します。
［プッシュボタン設定（PBC）］ボタン	無線親機のWPS実行ボタンを利用して、WPS機能を実行する場合に使用します。本製品本体には、ハードウェアボタンがありませんので、WPS機能を実行するときは、この画面から実行します。

本製品は、無線親機側のPINコードを入力して、WPS機能を実行することはできません。本製品のPINコードを、無線親機側に入力してWPS機能を実行してください。

Appendix

付録編

1 ネットワーク設定マニュアルの読み方

本製品に付属のCD-ROMの中にはWindowsのOSごとのネットワーク設定の方法について説明したPDF版「ネットワーク設定マニュアル」を収録しています。

●マニュアルの概要

このマニュアルは、ネットワークの基本的なことを説明した「基礎知識編」とOSごとのネットワーク設定の方法を説明した「各OS編」に分かれています。必要なファイルだけをA4サイズの用紙に印刷してご利用いただくと便利です。
なお、カラー対応になっていますのでカラープリンタで印刷していただくと、より分かりやすくなります。

ネットワーク設定マニュアルは有線LANでの説明になっていますが、無線LANでもネットワーク設定の方法は同じです。

●利用方法

①付属のCD-ROMをドライブに入れ、セットアップメニューを表示します。
②セットアップメニューの「FAQ」をクリックし、FAQ（Logitecサポート情報）を表示します。
③FAQトップページの一番下に「ネットワーク設定マニュアル」のリンクがありますので、クリックして説明をお読みください。

マイコンピュータなどでCD-ROMの内容を表示し、「manual」フォルダに収録されているファイルを直接ダブルクリックしてもご覧いただけます。

●「manual」フォルダの内容

「manual」フォルダには、本製品のマニュアルも収録されています。ネットワーク設定マニュアルのファイルは次のとおりです。

・ネットワーク設定マニュアルの利用法（.PDF）
・1-基礎知識編（.PDF）
・2-Windows_XP編（.PDF）
・3-Windows_ME_98編（.PDF）
・4-Windows_2000編（.PDF）
・5-Windows_Vista編（.PDF）

●Adobe Acrobat Readerをお持ちでない場合

「ネットワーク設定マニュアル」をお読みになるには、Acrobat（Adobe）Readerが必要です。お持ちでない場合は付属のCD-ROMからインストールしてください。

①マイコンピュータなどから付属のCD-ROMの内容を表示します。
②「acrobat_reader」フォルダがありますので、その内容を表示します。
③フォルダ内のプログラムアイコンをダブルクリックします。
④画面のメッセージに従ってインストールしてください。

2 トラブルシューティング

無線LAN関係のトラブル

添付CD-ROMのセットアップメニューから閲覧できる「FAQ」もご参照ください。

ネットワークの設定について

ネットワーク設定やIPアドレスを手動で割り当てる方法については、付属のCD-ROMにあるPDF版「ネットワーク設定マニュアル」に詳しい説明がありますので参考にしてください。「ネットワーク設定マニュアル」の使い方についてはP52「1.ネットワーク設定マニュアルの読み方」をお読みください。

●無線LANがつながらない。

①ネットワーク設定で実際のネットワーク環境に応じたプロトコル、サービスなどの設定をしていますか？　プロトコル（TCP/IPなど）、クライアント（Microsoft Networkクライアントなど）、サービス（Microsoft Network共有サービスなど）を環境に応じて設定する必要があります。

②ルータなどのDHCPサーバ機能を使用せずにインターネットプロトコル「TCP/IP」を利用する場合は、各パソコンに手動でIPアドレスを割り当てる必要があります。手順については、「ネットワーク設定マニュアル」に詳しい説明がありますので参考にしてください（→P52）。
→CATVインターネットなどでは、回線事業者からIPアドレスを指定される場合があります。その場合は指示に従ってください。

③本製品のセキュリティ設定や無線親機のアクセスコントロール（MACアドレスフィルタリング）設定は正しいですか？　セキュリティ設定は、無線LANネットワーク上にあるすべての機器で同じ設定にする必要があります。また、アクセスコントロールを設定していると、設定条件によっては無線LANに接続できない場合があります。

●セキュリティ機能を設定後、無線LANに接続できない。

①セキュリティ設定は、同じ無線LANネットワーク上にあるすべての機器で同じ設定になっている必要があります。設定が少しでも異なる機器はネットワークに接続することができません。

②各セキュリティ機能で使用するパスワードや暗号などの文字列は大文字と小文字が区別されたりします。また、意味のない文字列は入力ミスが発生しやすいので特に注意して確認してください。
→セキュリティ設定でのトラブルのほとんどがスペルミスや設定ミスですのでよく確認してください。

③設定を変更した直後や設定が正しい場合は、無線親機を含め、すべての機器の電源を入れ直してから接続してみてください。

●WPSがつながらない。

①もう一度初めからやりなおしてください。

②PINコードによる設定の場合、PINコードの設定モードや、入力したPINコードが誤っていることがあります。もう一度初めからやりなおしてください。

WPS機能を利用した接続に失敗する場合

WPS機能を利用した接続に繰り返し失敗する場合は、手動で接続してください。手動での接続方法については、P33「手動設定で接続する（WEP/WPA-PSK/WPA2-PSKを使う）」をお読みください。

共通のトラブル

●インターネットに接続できない。

①TCP/IPプロトコルが正しく設定されているかを確認してください。OSの〈ネットワーク〉画面でTCP/IPプロトコルが設定されているかを調べてください。見あたらない場合は、TCP/IPプロトコルを追加してください。手順については、「ネットワーク設定マニュアル」に詳しい説明がありますので参考にしてください（→P52）。

②DHCPサーバ機能を使用していない場合は、IPアドレスを手動で割り付けてください。OSのTCP/IPのプロパティにある【IPアドレス】タブで設定します。手順については、「ネットワーク設定マニュアル」に詳しい説明がありますので参考にしてください（→P52）。

③TCP/IPプロトコルの設定が正しいかを確認してください。プロバイダによって、IPアドレスを自動取得する場合と固定IPアドレスを指定する場合があります。プロバイダから提供されるマニュアルで確認のうえ、正しい設定をおこなってください。

④プロバイダから提供された情報をすべて設定したかを確認してください。IPアドレス以外にも、識別情報の指定などが必要なことがあります。プロバイダから提供されるマニュアルで確認のうえ、正しい設定をおこなってください。

●本製品の設定は正常に終了したが、ネットワークパソコンを開くと「ネットワークを参照できません。」のエラーが表示される。

①正常にネットワークの設定ができていない可能性があります。もう一度、デバイスマネージャなどで本製品の設定を確認し、OS側が本製品を正常に認識しているか調べてください。

●他のパソコンのファイルやプリンタの共有ができない。

①ネットワーク設定をしましたか。
無線LANが正常に動作していてもネットワーク設定ができていないとファイルの共有やプリンタの共有はできません。「ネットワーク設定マニュアル」に詳しい説明がありますので参考にしてください（→P52）。

②ネットワークには接続できて相手側へ入れるようになったが、相手側のドライブやプリンタの使用ができないときは次の点を確認してください。
・利用者がアクセスを許可するユーザーとして登録されていますか。ユーザーが登録されているか確認してください。
・利用者が共有フォルダにアクセスできるように設定していますか？　また、アクセス内容を正しく設定していますか。NTFSフォーマットのハードディスクの場合は、さらにセキュリティ設定でも利用者を登録しておく必要があります。

●ネットワーク設定ができない。

Administrator（管理者）権限でログオンしていますか。ネットワークの各種設定にはAdministrator権限がないと設定できない項目があります。

● Windows 7/Vistaで〈ユーザーアカウント制御〉画面が表示される。

Windows 7/Vistaでは、パソコンの利用者が意図しない設定変更を防ぐため、重要な設定項目を変更するときに〈ユーザーアカウント制御〉画面を表示して確認を促すようになっています。意図した操作であれば、そのまま操作を続けて問題ありません。

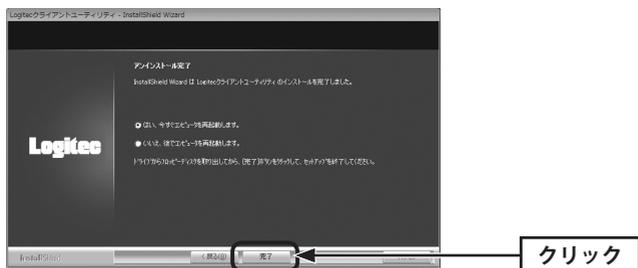
3 ユーティリティとドライバの削除

本製品のドライバおよびLogitec設定ユーティリティを削除する方法を説明します。

1 ［スタート］→［（すべての）プログラム］→［Logitec］→［クライアントユーティリティの削除］を選択します。

Windows 7/Vistaの場合
［クライアントユーティリティの削除］を実行すると、〈ユーザーアカウント制御〉画面が表示されることがあります。Windows 7なら はい を、Windows Vistaなら 許可 をクリックします。

2 はい をクリックします。

3 アンインストール完了のメッセージが表示されます。 完了 をクリックして、パソコンを再起動します。

4 補足事項

補足1：Windowsのユーザー権限の確認方法

Windowsにログオン中の現在のユーザー権限は、以下の方法で確認することができます。ログオン中のユーザーに管理者権限がない場合は、管理者権限のあるユーザーでログオンするか、現在のユーザーの権限を変更してください。

●Windows 7/Vistaの場合

❶ Windowsのデスクトップ画面左下の［スタート］→［コントロールパネル］をクリックします。
・ リストの右上に現在ログオン中のアカウント名が表示されますのでメモします。
❷ コントロールパネルの「ユーザーアカウントと家族のための安全設定」→［ユーザーアカウント］の順でクリックします。
❸〈ユーザーアカウントの変更〉画面が表示されます。
❹ 画面右に現在のアカウントと権限が表示されます。
❺ 現在、設定されているアカウントが表示されます。ログオンしているアカウントが「Administrator」になっていることを確認します。

●Windows XPの場合

❶ Windowsのデスクトップ画面左下の［スタート］→［コントロールパネル］をクリックします。
・リストの右上に現在ログオン中のアカウント名が表示されますのでメモします。

（カテゴリ表示の場合）
❷［ユーザーアカウント］をクリックします。
❸「コントロールパネルを選んで実行します」の［ユーザーアカウント］をクリックします。
❹「変更するアカウント」の下に、アカウントが一覧で表示されます。ログオンしているアカウントが「コンピュータの管理者」となっていることを確認します。

（クラシック表示の場合）
❷［ユーザーアカウント］をダブルクリックします。
❸「変更するアカウント」の下に、アカウントが一覧で表示されます。ログオンしているアカウントが「コンピュータの管理者」となっていることを確認します。
❹ アカウントの変更（アカウントを変更する）をクリックします。

補足2：本製品を取り付けたパソコンのIPアドレスを知りたいとき

本製品のLogitecクライアントユーティリティの【一般】タブで調べることができます（→P40）。【一般】タブの［ネットワークアドレス］にある［IPアドレス］が、本製品を取り付けたパソコンのIPアドレスになります。

5 基本仕様

無線LAN部

インターフェイス	USB2.0/1.1
規格	IEEE802.11n/g/b、ARIB STD-T66
周波数帯域	2.412 ～ 2.472GHz（中心周波数）
チャンネル	1～13ch
伝送方式	11n：OFDM方式、11g：OFDM方式、11b：DS-SS方式
データ転送速度（理論値）	11n：最大150Mbps、 11g：54/48/36/24/18/12/9/6Mbps、11b：11/5.5/2/1Mbps
アクセス方式	インフラストラクチャー
アンテナ方式	内部基板アンテナ1本
送信出力	10mW/MHz以下
セキュリティ	WEP（64/128ビット）、WPA-PSK（TKIP）、WPA2-PSK（AES）
設定方式	WPS（ソフトウェア）

一般仕様

消費電力（定格）	150mA
外形寸法	幅21×奥行57×高さ10mm
質量	約9g

IEEE802.11n/11g/11b準拠 USB2.0対応 無線LANアダプタ　LAN-W150N/U2
Windows版ユーザーズマニュアル

発行 　2010年2月26日　第1版